

事業所名

らいずキッズ上田（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		私たちライズグループは、福祉の本質を追求し、あらゆる人が澁澁と自分らしく暮らせる社会の実現を目指します。						
支援方針		「あそび」をとおして「発達の土台」をつくります。 らいずキッズの発達支援は「あそび」を使うので、楽しみながら発達します。 あそびを活用して、基礎感覚（前庭覚・固有受容覚・触覚）や五感を整え、発語、集中力、学習、運動、コミュニケーションなどを発達させます。 あそびから、まわる・跳ぶ・走る・上がる・下りる・体へ圧力をかける・摩擦を感じるなどの身体的アプローチを得ることができます。 この身体的アプローチを、子どもが満足しやりきるまでサポートします。						
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	健康的な生活習慣の確立を目指して、日常生活に必要なスキルの向上を目的として支援に取り組みます。 次の①～⑤の項目からご本人の状況に合わせて支援を提供します。 ①健康状態の把握、②健康の増進、③リハビリテーションの実施、④基本的な生活スキルの獲得、⑤構造化等により生活環境の整備 具体的な支援内容：あいさつ・手洗い・衣類の着脱・トイレ・食事等の指導、日常生活に必要なスキルの向上支援、保護者との共有						
	運動・感覚	遊びのなかで自分の体を知り、使い方を身に付けていきます。 姿勢・運動・動作の基本的技能の向上を目指します。 日常生活に必要な動作の習得や、感覚の統合を促す遊びを通して、身体的な発達をサポートしていきます。 跳ぶ・走る・まわる・上がる・下りるなどの感覚刺激を取り入れられるようにします。						
	認知・行動	遊びを通して、環境から情報を習得し、行動につなげるという認知機能の発達を促します。 認知・行動の概念の手がかりとなる様々な遊びを提供していきます。 他の児童とのかかわりのなかで、真似や一緒に活動する経験から、活動意欲向上に向けて取り組みます。						
	言語 コミュニケーション	遊びや他者とかかわりのなかで、自分の感じている思いを伝えたいという気持ちを育てていきます。 まずは身振り、指差し、サインなどを通して思いを表出できるようにします。 次に言語化して、相手に伝えられるようにしていきます。 言語コミュニケーションにおいても、遊びの中で発達を促していきます。						
	人間関係 社会性	人との関係を意識し、身近な人と良好な人間関係を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人との関係性をつくっていきけるようにします。 将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう、言語やコミュニケーション能力の向上を目的とします。 安心安全な環境を設定し、他の児童やスタッフを意識できるようにします。 遊びや活動を通して集団参加を促し、社会性の発達につなげます。						
家族支援		電話や面談、送迎のやりとりなどを通して、ご本人の姿や成長の過程での喜び、困り感などを共有していきます。必要に応じて助言をおこなっていきます。			移行支援		就学や進学に向けて、予定先の学校等と連携を図ります。 こども園や保育園等への移行先に対して、丁寧に引き継ぎをおこないます。	
地域支援・地域連携		必要な時は担当者会議に参加し、情報収集・役割分担など支援について協議します。各関係機関からの情報を元に、子どもへの関わり方の提案をおこないます。			職員の質の向上		必要な知識と技術の向上を目的に、年間計画をもとに専門的な研修を実施していきます。	
主な行事等		季節に合わせたイベント（お正月遊び、節分、ハロウィン、クリスマス会など）						

事業所名

らいずキッズ上田（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		私たちライズグループは、福祉の本質を追求し、あらゆる人が澁澁と自分らしく暮らせる社会の実現を目指します。							
支援方針		「あそび」をとおして「発達の土台」をつくります。 らいずキッズの発達支援は「あそび」を使うので、楽しみながら発達します。 「あそび」の中で、一人ひとりが楽しい時間をもてること、人とかかわることの楽しさや心地よさを感じることを大切にします。 一人ひとりの可能性を引き出すよう、個々の発達に応じた療育をおこないます。							
営業時間		平日	10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休業日	9 時	0 分から	18 時	0 分まで			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	健康的な生活習慣の確立を目指して、日常生活に必要なスキルの向上を目的として支援に取り組みます。 次の①～⑤の項目からご本人の状況に合わせて支援を提供します。 ①健康状態の把握、②健康の増進、③リハビリテーションの実施、④基本的な生活スキルの獲得、⑤構造化等により生活環境の整備 具体的な支援内容：あいさつ・手洗い・衣類の着脱・トイレ・食事等の指導、日常生活に必要なスキルの向上支援、保護者との共有							
	運動・感覚	遊びのなかで自分の体を知り、使い方を身に付けていきます。 姿勢・運動・動作の基本的技能の向上を目指します。 日常生活に必要な動作の習得や、感覚の統合を促す遊びを通して、身体的な発達をサポートしていきます。 跳ぶ・走る・まわる・上がる・下りるなどの感覚刺激を取り入れられるようにします。							
	認知・行動	遊びを通して、環境から情報を習得し、行動につなげるという認知機能の発達を促します。 認知・行動の概念の手がかりとなる様々な遊びを提供していきます。 宿題などの個別課題に取り組む場合、基本的な学習の仕方や学習に向かう気持ちを養うことができるよう支援します。							
	言語 コミュニケーション	遊びや他者とのかわりのなかで、自分の感じている思いを伝えたいという気持ちを育てていきます。 伝えたい思いを言語化して、相手に伝えられるようにしていきます。時には非言語的手段（身振り、指差し、サイン）などを通して思いを表出できるようにします。 言語コミュニケーションにおいても、遊びの中で発達を促していきます。							
	人間関係 社会性	人との関係を意識し、身近な人と良好な人間関係を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人との関係性をつくっていきけるようにします。 将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう、言語やコミュニケーション能力の向上を目的とします。 安心安全な環境を設定し、他の児童やスタッフを意識できるようにします。 遊びや活動を通して集団参加を促し、社会性の発達につなげます。							
家族支援		電話や面談、送迎のやりとりなどを通して、ご本人の姿や成長の過程での喜び、困り感などを共有していきます。必要に応じて助言をおこなっていきます。				移行支援		就学や進学に向けて、予定先の学校等と連携を図ります。 進学先等の移行先に対して、丁寧に引き継ぎをおこないます。	
地域支援・地域連携		必要な時は担当者会議に参加し、情報収集・役割分担など支援について協議します。各関係機関からの情報を元に、子どもへの関わり方の提案をおこないます。				職員の質の向上		必要な知識と技術の向上を目的に、年間計画をもとに専門的な研修を実施していきます。	
主な行事等		季節に合わせたイベント（お正月遊び、節分、ハロウィン、クリスマス会など）							